

電気通信大学 平成17年度シラバス

授業科目名	スポーツ・マネジメント		
英文授業科目名	Sport Management		
開講年度	2005年度	開講年次	3、4年次
開講学期	5、7学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-上級科目-テーマ別セミナー		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	大鋸 順		
居室	東1-403		

公開E-Mail	授業関連Webページ
oga@hc.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
<p>(1) 主題：スポーツマネジメントには、スポーツをめぐる経営管理、組織技術、マーケティング、コミュニケーション、財務、倫理、経済、行政などの領域がある。ここではスポーツマーケティングを中心に学習する。中心的テーマは、最も進んでいるといわれるアメリカのスポーツマーケティング事情に触れながらマーケティングの基本的考え方、技術、方法などを学習する。</p> <p>(2) 到達目標：スポーツ消費者のセグメント、ブランドマネジメント、ニッチ分析、サービスクオリティの把握、スポンサーシップ適合などを理解する。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
統計数学

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
心理学、経済学、社会学

【教科書等】
<p>テキストとして、スポーツマネジメント研究会編訳、G.R.Milne & M.A. McDonald著「スポーツマーケティング-交換過程の経営-」（道和書院）を使用する。参考書として、コトラー著「マーケティングマネジメント」（プレジデント社）、また原書としてB.J.Mullin, S.Hardy & W.Sutton著「Sport Marketing」（Human Kinetics）を使用する。</p>

電気通信大学 平成17年度シラバス

【授業内容とその進め方】

(1) 授業内容：スポーツマネジメント”考”、スポーツマーケティングの基本的考え方、ファンアーチ化、スポーツ消費者、ブランドマネジメント、顧客データ・ベース、ニッチ市場、サービスクオリティ、スポンサーシップ、インターネットマーケティングなどを理解する。

(2) 授業の進め方：テキストを中心にマーケティングの考え方や技術を理解するとともに、アメリカのスポーツマーケティング事情を原書から読み取る。毎回の授業はマーケティングの講義と、原書を翻訳したプレゼンテーションを平行して行う。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(1) 評価方法：出席状況、プレゼンテーション及び期末試験を総合的に評価する。評点は出席点(50%)、プレゼンテーション(20%)、試験(30%)を目安にする。

(2) 評価基準：スポーツマーケティングの基本的考え方、アプローチ及び手法(因子分析、ニッチ分析、ギャップ分析、クラスター分析、性格適合など)を身につける。

【オフィスアワー：授業相談】

月曜日、水曜日、金曜日の午後

【学生へのメッセージ】

スポーツ、スポーツビジネス、マーケティングに関心のある学生の受講を希望する。受講学生は少なくとも1回原書を翻訳したものについてのプレゼンテーションを行う。

【その他】